

《各学部におけるキャリア教育の取り組みを紹介します》

小学部の学部目標には、「自ら取り組もうとする児童を育てる」、中学部の学部目標には、「自ら考え、状況に応じて行動する生徒を育てる」、高等部の学部目標には、「地域の中でたくましく生きる生徒を育てる」という一文があります。その目標達成のためにも、課題対応能力（計画・実行する力）が求められます。今回は、計画・実行する力をつけていく取り組みを紹介します。

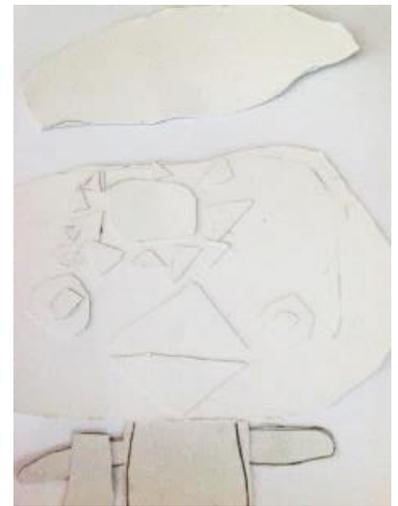
- **高等部** 目的を理解して活動を継続する。自分の立てた目標に向けて努力し達成感を味わう。
- **中学部** 一定時間集中して取り組む。課題を成し遂げることで達成感を味わう。
- **小学部** やるのが分かり、活動に取り組む。最後までがんばろうと努力し、「できた」という経験をする。

（会津支援学校キャリア教育計画キャリア発達課題より）

「キャリア発達の視点で児童生徒の能力を育てる」という意識で同じ能力を段階的に積み重ねます。

<小学部パワー祭り制作>

パワー祭り展示作品の制作では、5年生は校外体験学習の経験をもとに、かっぱの版画作りをしました。きゅうりのとげを細かく切ることが分かると、たくさんのとげを作りました。友達の作った細かいとげを見て、「私もやりたい。」という児童もいました。細かく切った紙を貼るためには指先の微調整とともに集中力が求められます。根気強く一つずつ接着剤で接着しました。最後の一つを接着すると「はあ、できた。」とやり遂げた感想が聞かれ、「できた。」という喜びを感じている表情でした。



鑑賞では、友達の作品を見て感想を述べるように伝えると、「かっこいいね。」「ムキムキのかっぱだ。」「かわいいね。」など様々な感想が聞かれました。お互いに上手にできたところを見つけることができました。

作品制作に最後まで取り組み、「できた」という経験を重ねることができました。

<中学部パワー祭りイベント広場>

中学部のイベント広場は、学習発表と作業製品の販売会が行われました。作業製品の販売は、1学年3名、2学年4名、3学年4名が販売係として活動を行いました。当日に向け何度も練習を重ねた販売係11名の様子を紹介します。

お客様の顔を見て声を出すことや、語先後礼の学習では、「いらっしやいませ。」「ありがとうございました。」などの挨拶を繰り返し練習をしました。また、教師が「何個まで買っていいですか。」とたずねると、「何個まででも大丈夫



夫です。」と答える姿や、「〇〇がおすすめです。」と自分で考えた答えを笑顔で伝えている様子も見られました。

パワー祭り当日は、練習の成果を發揮して工芸班計60個、作業班計42個、合計102個を完売しました！「製品完売」という結果に、大きな達成感を得た生徒たちでした。保護者の皆様の御協力にも感謝いたします。

製品販売に向けて値札をつけたり販売のレイアウトをしたりと計画的に準備していく生徒たちの姿が見られました。



<高等部パワー祭りイベント広場>

高等部では、作業班、自立活動班に分かれて、製品の販売や野菜の販売、喫茶接遇のサービス、学習紹介、ゲームなど、それぞれに趣向を凝らした企画を準備しました。どの作業班も「お客様に喜んでほしい」という思いを胸に、一生懸命学習に取り組みました。

木工班は、スツール、なべしきなど6種類の木工製品を販売しました。みんなで力を合わせ、前日も製作の時間にあて、販売目標数を達成できました。パワー祭り当日は、接客、会計、袋詰めなど、やりたい担当を自分で決めました。声を出すことに初めは緊張も見られましたが、自分で決めた担当に責任をもって取り組み、徐々に大きな声を出せるようになりました。準備した製品すべてが予定より早く売れたときは「完売したー！」「やったー！」と声があがり、生徒たちの表情は達成感に満ちていました。

各作業班で決めた目標に向かい、パワー祭りに間に合うように準備をし、当日はすべての生徒が自分の役割を自覚し行動する姿が見られました。

